

## 23. 産後ケアにおける地域資源のピアサポートが家族に与える影響の検討

○坂口裕子(NPO 法人 a little 代表) 阿川勇太(大阪総合保育大学 講師)

### 【研究目的】

近年母子保健法が改正され、産後ケアが各自治体で努力義務になり、独自の取り組みが始まっている。現在行われている産後ケア事業の多くは、医療従事者によるケアが中心になっており、助産師の訪問や医療機関でのデイサービス等が主な取り組みとなっている(伊東, 2022)。現在自治体にて行われている産後ケア事業において、共通してみられているサービスの効果は母乳育児に関するものであった(田中ら, 2018; 伊藤ら, 2017)。しかしながら、産後の母親のニーズ調査では、母乳のこと等に合わせ、初産婦では子どものことなどを含めた情報交換の場に関するニーズ、経産婦では保育及び家事サポートに関するニーズがみられている(伊藤, 2022)。今後の母親の産後ケアについてはこれらのニーズに合わせ、お互いが繋がりながら助け合えるような関係づくりの支援が求められている。このような取り組みを「産後ケアにおけるピアサポート事業」とし、令和5年3月に更新された成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針においても推進していく必要があることが明記されていることから、実態を調査研究する。

### 【研究の必要性】

地域では NPO 法人などによるインフォーマルなサポートによる産前産後の支援が見られるようになってきている。兵庫県西宮市で活動する NPO 法人 a little では、2015 年より地域の助け合いをテーマに当事者同士のつながりを強化する産後におけるピアサポート事業を展開してきた。当団体のピアサポート事業では、ニーズに挙げられていた情報交換ができる仲間づくりや、保育及び家事サポートに力を入れて展開してきたという背景がある。

本研究では、ニーズにも上がっている産後におけるピアサポート事業を先行して取り組んできた NPO 法人の利用者を調査対象とし、産後におけるピアサポート事業を受けることにより、産前産後の家庭にどのような影響があるのかを質的に明らかにすることで、今後のより良い産後ケアの支援について考える資料を作成する。

### 【研究計画】

NPO 法人 a little の産後におけるピアサポート事業を利用している会員に対し調査内容を伝え、研究に興味のあるものをリクルートした。尚、説明文書を用いて本研究の意義、目的、方法、倫理的配慮を口頭で説明し、協力の得られた者を研究対象者とした。

研究対象者となった母親には、研究責任者がインタビューアーとして参加し、インタビューガイドを用いてインタビューを行った。インタビューの内容としては、①産後におけるピアサポート事業を利用して、どのような効果を感じたか、②産後におけるピアサポー

ト事業の利用前後で、どのような変化があったかを確認し、顕在的および潜在的効果を検討した。

### 【実施内容・結果】

同意が得られた研究対象者に対し、産後におけるピアサポート事業における効果についてインタビューを実施し、同意を得てICレコーダーを使用して録音した。インタビュー内容を録音したものを基に逐語録を作成し、産後におけるピアサポート事業における効果について語られている部分に着目して熟読し、文脈の意味内容ごとに取り出し、整理して類似性に沿って分類し、カテゴリ化を行った。分析結果は研究対象者に提示し、メンバーチェックを行い、意見の一致を図った。

インタビューをもとにした逐語録を分析した結果、産後におけるピアサポート事業における効果としては以下の通りカテゴリ化された（表1）。尚、表中の青い部分は地域での産後におけるピアサポートの効果として抽出された部分を示している。

本研究ではインタビューを通じ、産後におけるピアサポート事業における効果として55コード、32サブカテゴリ、9カテゴリが抽出された。9カテゴリは【安心感の獲得】【家事運営の改善】【子育ての方法についての学び】【子どもとの関係良化】【地域の情報の取得】【地域でのつながりの形成及び強化】【夫婦の関係改善】【リフレッシュ及びリラクセス効果】【子どもの発達への影響】であった。特に地域におけるピアサポートに関する効果として抽出されたサブカテゴリは青色にしてあるが、【地域の情報の取得】と【地域でのつながりの形成及び強化】については、カテゴリそのものが地域におけるピアサポートに関する効果として抽出された。

表1 産後におけるピアサポート事業における効果のカテゴリ

サブカテゴリ	カテゴリ
同地域の同じ経験をしている人から安心して依頼できる 同じ人が助けられるので安心して家事を依頼できる 同僚的の地域的な繋がりが感じられるので安心して依頼できる 家事の方法も教えてくれるので安心して依頼できる 依頼と同僚的のサポートで子どもが安心して成長できる 家事が得意な人がいるので依頼しやすい 夫婦だけでなくて地域の人からサポートできることで安心感を得る 同じ地域の人に助けられることで孤独感や孤立感が減少する アドバイスももらいながら自分の家事を改善する 家事の得意な人がいる 家事をサポートし家族と協力して夫婦の家事負担を減らす 子どもとの遊びや関わり方の見本となる 世代が近いので、同じような経験から子育て方法を学べる 家事を手伝ってもらえることで自分の負担を減らす 同じ地域の人からサポートを受けることで子どもの成長が促される 訪問者から「子どもかわいいね」と一緒に喜んでもらえることで可 愛く感じるようになる	安心感の獲得
地域での子育て情報を知ることができる 地域のおすすめ施設や習い事、地域で開催されている講座情報を教えてもらう 地域の保育教育関係や医療福祉関係の施設等の内情などの細かい情報を知ることができる 同じ地域のママ同士での繋がりができる 地域に知り合いができて地域と一緒に子育てをしていると感じることができる 心の余裕ができて夫に対しても心穏やかでいられる 夫婦の会話が増加する 夫婦関係の緊張が緩和する 大人と会話できることで気持ちが晴れる 同じ立場の人が共感を示してくれることで気が楽になる 家事を手伝ってもらっている間にリフレッシュする 家事を助けてもらうことで体力的な負担の減少する サービスの利用日に合わせて夫が飲み会や残業の予定を入れることができる 誰かがいることで安心して睡眠できる 無理しすぎていた自分に気づく 家事を助けてもらうことで夫の心理的負担が減少する 家事を助けてもらうことで心理的負担が減少する	地域の情報の取得    夫婦の関係改善   リフレッシュ及びリラクセス効果
家に誰かが来る経験を積み重ねることで子どもの人への関心が育つ	子どもの発達への影響

【安心感の獲得】は、同じ地域の人が繰り返し訪問してくれることや、同じ経験をしている同世代の人が訪問してくれることで、安心して相談できたり家事を任せることができたり、孤独や孤立感が減少することなどの効果が示されたカテゴリである。代表的なサブカテゴリとしては「同地域の同じ経験をしている人だからこそ安心して信頼できる」「同じ人が訪問に来るので安心して家事を依頼できる」「同世代の地域の当事者が訪問してくれるので安心して色々質問でき、家事の方法も似ているので安心して任せられる」などがある。このカテゴリでは、同じ地域で住んでいる人が支援に来てくれることや同世代の人が支援に来てくれることに対する安心感に関するコードが抽出されており（例：＜同じ地域の同じ経験をしている人にきてもらうことで、地域の人に支えてもらいながら子育てできてる感じがあって1人じゃないと思える＞など）、地域におけるピアサポートの効果として多くのサブカテゴリが抽出された。

【家事運営の改善】は、家事サービスを利用することで自分達の家事の方法について見直すきっかけになったり、家事を円滑に回せるようになったりする効果が抽出されたカテゴリである。サブカテゴリとしては「アドバイスをもらいながら自分の家事を見直す」「家事の円滑な遂行ができる」「家事をサービス提供者と分担して夫婦の家事負担を減らす」が抽出された。このカテゴリにおける特徴的な語りを以下に示す。

【子育ての方法についての学び】は、支援者が子どもと関わっているところを見たり、アドバイスをもらうことで、子育ての方法を学習するという効果が抽出されたカテゴリである。サブカテゴリとしては「子どもとの遊び方や関わり方の見本となる」「世代が近いので、共感できる経験談から子育て方法を得られる」が抽出された。このカテゴリでは、同世代が支援にきてくれることで、子育ての経験談も世代間ギャップなく共感でき、子育て方法を素直に学べるといった点を述べている方が複数いた。

【子どもとの関係良化】は、家事を手伝ってもらえることで物理的に子どもと関わる時間が増えたり、一緒に子どものかわいさに共感してもらえたりすることで、子どもとの関係がよくなる効果が抽出されたカテゴリである。サブカテゴリとしては「家事を手伝ってもらって心の余裕を持って子どもとゆっくり過ごしたり遊べる時間が確保できる」「訪問者から「子どもかわいいね」と一緒に喜んでもらったことで可愛く思えるようになる」が抽出された。

【地域の情報の取得】は、地域の人が支援に来ることで地域の子育て情報が得られたり、地域の保育教育施設や医療福祉関係の施設の内情などの細かい情報を知ることができるという効果が抽出されたカテゴリである。サブカテゴリとしては「地域での子育て情報を知ることができる」「地域のおすすめ施設や習い事、地域で開催されている講座情報を教えてもらう」「地域の保育教育関係や医療福祉関係の施設等の内情などの細かい情報を知ること

とができる] が抽出された。このカテゴリは、特に地域におけるピアサポートの効果が抽出されたカテゴリの一つである。

【地域でのつながりの形成及び強化】は、支援者とサポートを受けている人同士の交流会などを通じて、同じ地域のママ同士のつながりができたり、つながりができた人が地域で声をかけてくれたりすることで、地域で一緒に子育てをしていると感じられる効果が抽出されたカテゴリである。サブカテゴリとしては [同じ地域のママ同士での繋がりができる] [地域に知り合いができると地域で一緒に子育てをしていると感じることができる] が抽出された。このカテゴリは、特に地域におけるピアサポートの効果が抽出されたカテゴリの一つである。

【リフレッシュ及びリラックス効果】は、支援を受けることで体力的及び心理的負担が軽減したり、話に共感してもらえたりすることで気持ちが晴れるなどの効果が抽出されたカテゴリである。代表的なサブカテゴリとしては [同じ立場の人が共感を示してくれることで気が楽になる] [家事を助けてもらうことで体力的な負担の減少する] [無理しすぎていた自分に気づく] などである。このカテゴリに関する語りはインタビュー内で多くみられ、サブカテゴリとしても最も多く抽出された。また、母親だけでなく、母親から見た父親における効果に関するコード（例：<夫の家事の助けになっているので、それによって夫が少し精神的に楽になっている>、<夫にとってもサポーターが来る日に飲み会を入れたり残業したりできる1日になる>など）も抽出されている。

【子どもの発達への影響】は、他者との交流が少ない子どもにとって、支援者が家に来ることで人への興味関心が出てきたりするというような効果が抽出されたカテゴリである。サブカテゴリとしては [家に誰かが来る経験を積み重ねることで子どもの人への関心が育つ] が抽出された。

### 【考察と今後の課題】

本研究では、産後におけるピアサポート事業を先行して取り組んできた NPO 法人 a little の利用者を調査対象とし、産後におけるピアサポート事業を受けることにより、産後の家庭にどのような影響があるのかを明らかにしてきた。産後の体力的にも精神的にもつらくなる時期に家事の代行をしてもらえることで、体力的及び精神的な負担が軽減するだけでなく、その結果夫婦関係の改善や子どもとの関係が良くなる可能性についても本研究では明らかとなった。また、地域におけるピアサポートであるからこそ、安心して家事を任せられたり、地域のつながりにつながっているなどの効果も見られた。特に地域の情報を得られるという点では、専門家による訪問と異なり、当事者目線の詳細な情報を知ることができることで、施設の利用につながったり、制度の利用などにつながっていた。そういった地域との橋渡しとしても同じ地域の当事者がピアサポートといて産後の家庭に出向くことは意義として大きい可能性が示唆された。

また、家族への影響としては、夫婦関係が改善したり、父親自身の体力的及び心理的負

荷が減少しているような効果についても可能性が示唆された。父親の育児参画が進む中で、家事や育児に父親が悩むケースもある。今後父親も対象にして、産後のピアサポート事業がどのような効果を父親に与えているのかの検討も必要となる。

今後これらの可能性を踏まえ、サービスの内容や具体的な支援とその効果の関連性などについて検討を重ね、産後におけるピアサポート事業をより発展させていく必要がある。

#### 【参考文献】

伊藤美智子(2022). デイサービス型産後ケア事業の研究動向と今後の課題. 神戸常磐大学紀要, 15, 49-60

伊藤朋子, 山田円, 佐藤由美子, 佐藤眞理, 小山田信子, 佐藤喜根子(2017). 産褥期の母親が助産所で実施する産後デイケアを利用する理由とその効果. 助産師, 71(1), 51-61.

田中陽子, 上田たつえ, 川上好美, 馬場早苗, 大平純子, 小山田浩子(2018). 大阪府助産師会産前産後ケアセンター利用者の実態調査(第1報): 開院から2年間の利用状況と課題.

母性衛生学会雑誌, 54(1), 21-25.

#### 【経費使途明細】

使途	金額
調査研究に関わる調査員アルバイト代 5000円×11か月分	55,000円
調査協力者への謝礼用クオカード購入費 5000円×6人分	29,580円
調査協力者への謝礼用 alittlecafe お弁当チケット 1100円×6人分	6,600円
調査協力者への謝礼用 a little 家事サポートチケット 5000円×6人分	30,000円
文字起こし委託費	21,462円
調査研究のためのインタビュー補助、集計作業業務委託費	40,000円
合計	182,642円
大同生命厚生事業団助成金	280,000円
残金(返還済)	97,358円